

こどもゆめくらぶ

里山体験イベント・レポ

小島 武雄

9月23日(土)

子どもたちとその保護者、お世話の方70名来場、当会スタッフ24名の94名での開催。

当日は曇天でしたが、昨日までの厳しい暑さが消え、朝の涼しい風が吹いていました。ただ、午後から晴天が予想され気温も30度越えとの判断で、急遽予定になかったテントを1張り設置する事に、皆さまの協力で何とか準備完了。予定通りに、「こどもゆめくらぶ」の一行が到着しました。最初に朝の歌「小さい秋」の合唱。10時50分開催、千載会長の「ようこそならやま里山体験の話」からイベント始まりです。



11時より、全員で稲田へ。鈴木さんの「お米の話」稲の伝来から栽培の流れなど。ビオトープ池に移動、田中さんのビオの成り立ちとペタキンの話のあと、手に水網を持って池の生物掬いです。夢中になって池に胸まで落ちる女の子も!



次は、エコの皆さんに迎えられ、緑陰広場横の農園でピーマンとナスの収穫です。子どもは手の小さなハサミを動かし、嬉しそうに摘み取ります。収穫経験のない大人も参加です。ここで、午前の予定は終了、12時50分に昼食の豚汁が振る舞われました。

吉村さんたちが、早朝より準備された黒米のおにぎりも、大喜びで完食。テントのおかげで日陰で全員食事ができました。展示のジュズダマに見入る子や、取ったザリガニに興味津々。

午後は12時40分から、2つのグループに分かれ、竹林25分と薪割り15分体験です。



ここで、全員ヘルメット着用。竹林では少人数に分かれて、それぞれの竹を根元から切り倒します。ノコギリで切り離れた竹を、子ども3人で力を合わせて横倒しに引っ張ります。力余って竹の下に転がる子どももたくさんいました。

薪割りは、重量機械を使います。危険を伴いますので、丸太の持ち込みから、薪割り、薪棚



へ運び出しなどの流れに沿って、全員が体験しました。機械を動かす時の真剣な小さな目が輝きます。

次に里山林へ入ります。木漏れ日の観察路を一行になって進んで行きます。途中に椎茸栽培地の榎木組を見上げ、アスレチック広場へ到着。いつも通り、思いっきり遊んでくれました。部分皆伐地へ移動し、植樹や樹木林の再生の話や、ドングリの育成の話聞き、14時40分予定通りBCへ到着しました。

最後に千載会長から「里山のお話」は、用意されたたくさんの写真を見ながら、みんなしっ



かり聞いてくれました。お土産は、収穫野菜とジュズダマブレスレット、鹿の折り紙を手にみんなニ

ニコ満足そう。最後に「オタマジャクシはカエルのこ」の合唱で終了。



今回のイベントは、とてもとても盛りだくさんで、準備が大変でした。スタッフの皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。お疲れが、出ませんように。

(イベント担当 山上・三瀬・小島)